

♡ 地域福祉の向上に向けた取組 ♡

在宅高齢者に向けたきめ細かな支援の拡充 7,236万円

- 地域包括ケアシステムの推進に向け、自立支援用具の対象品目の拡大をはじめ、補聴器購入費助成事業の交付対象者の拡大、緊急通報システムの通信手段の充実によるきめ細かな対応を図り、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援を強化します。

介護サービス人材確保事業 **新** 976万円

- 介護サービスのマネジメントを行うケアマネジャーの人材確保のため、荒川区で「ケアマネジャーになりたい・続けたい」という職員がいる区内の「居宅介護支援事業所」に対し、資格取得・更新費用を全額補助します。

重度障がい者に対する支援の充実 3,153万円

- 障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、重度障がい者の居住の場であるグループホーム及び日中活動の場である生活介護施設の整備を促進するため、施設整備費補助を拡充します。

たんぽぽセンターの児童発達支援センター化 6,034万円

- たんぽぽセンター(心身障害者福祉センター)を地域における障がい児支援拠点施設として位置づけ、発達障がい児や発達が気になる未就学の児童に対する療育支援のほか、地域の障がい児やその家族の相談、障がい児を支援する施設への援助等を行う「児童発達支援センター」への移行に向けて機能を拡充します。

🌱 にぎわいあふれるまちづくり 🌱

豊かな心を育む読書のまちづくりのさらなる推進 1億4,542万円

- 「読書を愛するまち・あらかわ」の理念を一層深め、事業者や団体が一緒に読書を応援する「(仮称)読書パートナー制度」の導入など、地域が一体となって、あらゆる世代が生涯にわたり豊かな心を育む読書のまちづくりを推進していきます。

荒川遊園スポーツハウスのリニューアル **新** 5,832万円

- 屋内スポーツ施設リニューアル第2弾として、荒川遊園スポーツハウスのリニューアルに向け、基本・実施設計を行います。
- 高齢者、障がい者、子ども、子育て世代の方など、より多くの方が利用しやすいスポーツ施設を目指します。

宮前公園第三期の整備 5,452万円

- 暑い日も雨の日も利用できる全天候型の賑わい広場や、車いすの方も遊べるインクルーシブ遊具のある広場など、子どもから高齢者まで幅広い方々が楽しめる魅力的な公園を整備します。
- 隣接する令和あらかわ病院と連携し、災害活動や医療救護活動の拠点として機能させるため、永久水利施設などの設備を整えます。

令和5年2月発行



荒川区 総務企画部 財政課
電話 03-3802-3111(内線2121~4)

令和5年度 荒川区当初予算(案)

一人ひとりに寄り添い、 明るい未来へ歩みを進める予算

令和5年度当初予算案は、コロナ禍の長期化に加え、物価高騰の影響が続く中にあっても、最も身近な基礎自治体として、区民の皆様一人ひとりに寄り添う温かい行政を目指し、明るい未来に向かって着実に歩みを進めてまいりたい、そうした思いを込めて、このたびの予算を、『一人ひとりに寄り添い、明るい未来へ歩みを進める予算』と位置づけ編成しました。

荒川区長 秋川 太一郎



一般会計の予算規模

1,133億7千万円 (前年度との比較)
62億1千万円、5.8%増

区民の皆様が安心して日常生活を送っていただけるような取組に重点的に予算を配分するとともに、選択と集中の観点から既存施策の見直しを図るなど、メリハリのある予算編成を行いました。

重点施策の一覧

区民の命と安全・安心を守る取組

- 新型コロナウイルス感染症対策
- 災害対策の強化・充実
- 自転車交通安全対策の充実
- 空き家対策事業の充実

地域産業の振興

- 中小企業GX経営推進支援事業
- インバウンドの受入体制の強化

子育て家庭・若者への支援

- ケアリーバー支援の実施
- 若者相談支援体制の整備
- 医療的ケア児等への支援の実施
- 区立幼稚園給食の開始
- 学校給食の無償化

脱炭素社会の実現に向けた取組

- 地球温暖化対策の充実
- 森林関連事業の充実

地域福祉の向上に向けた取組

- 在宅高齢者に向けたきめ細かな支援の拡充
- 介護サービス人材確保事業
- 重度障がい者に対する支援の充実
- たんぽぽセンターの児童発達支援センター化

にぎわいあふれるまちづくり

- 豊かな心を育む読書のまちづくりのさらなる推進
- 荒川遊園スポーツハウスのリニューアル
- 宮前公園第三期の整備



一人ひとりに寄り添い、明るい未来へ歩みを進める予算



区民の命と安全・安心を守る取組

新型コロナウイルス感染症対策

26億5,894万円

- 国の動向を踏まえ、自宅療養者の異変に素早く対応するため、必要に応じて医師の往診や看護師の訪問など、関係機関と連携して自宅療養をサポートします。
- 陽性患者が必要な入院治療を受けられるよう、引き続き関係医療機関と連携して区民のための独自病床を確保します。
- 希望する区民が適切にワクチンを接種できるよう、万全な接種体制を整備します。

災害対策の強化・充実

9,735万円

- 災害時の被害を軽減するため、防災スポットや永久水利の整備など、災害対策の強化・充実を図ります。

自転車交通安全対策の充実

4,032万円

- 自転車ネットワーク計画に基づき、安全な自転車走行空間の整備を進めるとともに、交通ルール啓発のための動画を作成・活用するなど、自転車交通安全対策の充実を図ります。

空き家対策事業の充実

3,707万円

- 危険な空き家をなくし地域の防災性を高めるため、所有者調査の実施や解体費の助成の充実を図ります。
- 空き家の利活用を促し、まちの魅力や住環境の向上を図り、にぎわいを創出する取組を推進します。

地域産業の振興

中小企業GX経営推進支援事業 新

3,476万円

- “経済と環境の好循環”を目指すグリーントランスフォーメーション(GX)に繋がる設備等の導入経費を補助することにより、脱炭素経営に取り組むことによるブランド構築を通じた競争力強化及びコスト低減による経営基盤強化を支援します。

インバウンドの受入体制の強化

718万円

- 増加が見込まれるインバウンドに対し、新たにデジタルコンテンツを作成し、荒川区の魅力を発信します。
- 成田空港からの玄関口「日暮里」の観光案内所をリニューアルし、インバウンド及び国内旅行のホスピタリティを向上させます。

子育て家庭・若者への支援

ケアリーバー支援の実施 新

500万円

- 児童養護施設等を退所する若者(ケアリーバー)の就職や大学等の進学時に、家具や家電等を購入するための一時支度金を支給するほか、住宅を借りる際の保証料や、就職先での活用や進学者の将来のキャリアアップにつながる資格、運転免許取得にかかる費用を補助します。

若者相談支援体制の整備

3,320万円

- 若者(概ね15歳から39歳)のあらゆる相談を受け付け、悩みに応じて適切な支援機関につなぐ荒川区若者相談「わっか」でLINEを活用した相談を開始します。
- 区の若者支援の関連部署との連携を強化するための会議体を設置するなど、地域ネットワークの構築を図り、関係機関が一体となって若者の社会的自立を後押しします。

医療的ケア児等への支援の実施

9,392万円

- 集団保育を希望する医療的ケア児を受入れできるよう、区内保育所等の受入体制の整備を支援します。
- 留守番看護師派遣事業において愛の手帳・身体障害者手帳の有無にかかわらず、人工呼吸器管理など、医療的ケアを日常的に受けている児童への支援を継続します。

区立幼稚園給食の開始 新

2,503万円

- 幼児教育の充実を図るため、区立幼稚園8園において、お弁当形式による給食の提供を開始します。

学校給食の無償化 新

7億5,383万円

- 質の高い学校給食を安定的に提供するとともに、コロナ禍における物価高騰等に対応し、保護者負担の軽減を図るため、区立全小中学校において学校給食の完全無償化を実施します。

脱炭素社会の実現に向けた取組

地球温暖化対策の充実

4,454万円

- 新築の戸建住宅のZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)化に対する助成の新設や、集合住宅でも導入可能で高い省エネ効果が期待できる「高断熱窓への改修」に係る助成費用を拡充し、地球温暖化対策の充実を図ります。

森林関連事業の充実

770万円

- 都内広域連携により、森林整備事業に参画し、将来的なカーボンオフセット及び森林体験の場の創出等に取り組む等、区民が自然や環境について触れ・学ぶ機会の更なる充実を図ります。